

令和 4 年度小学校フッ化物モデル事業の取り組み

(1) フッ化物洗口

- ・モデル校として浜山小学校（兵庫区）と名倉小学校（長田区）の 2 校を選定し、令和 3 年 11 月より、フッ化物洗口を希望する小学 2 年生の児童を対象に開始。毎週 1 回洗口を行った。
- ・浜山小学校では計 7 回実施し、延べ 241 人が参加、名倉小学校では計 5 回実施、延べ 115 人が参加したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により途中で中止した。
- ・令和 4 年度は、前年度に参加していた児童（小学 3 年生に進級、希望者）に対して 5 月より継続実施している。



(2) フッ化物塗布

- ・モデル校として和田岬小学校（兵庫区）と丸山ひばり小学校（長田区）を選定し、小学 2 年生の希望者を対象に、年 2 回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業実施に至らなかった。
- ・令和 4 年度は小学 3 年生を対象に、9 月 15 日に和田岬小学校で、9 月 22 日に丸山ひばり小学校で 1 回目の塗布を実施した。45 分の授業時間のうち 20 分間で歯の大切さ等を学び、25 分間で希望者に対しフッ化物塗布を行った。和田岬小学校は、27 名/30 名、丸山ひばり小学校では、31 名/33 名の児童にフッ化物塗布を実施した。

